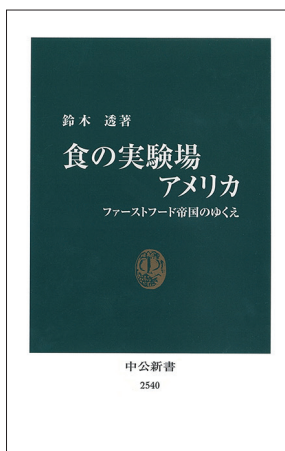


慶應義塾に関連した出版物や教職員の最新著書などを中心に、本に関する情報をお届けします。

## 食から読む移民大国の躍動の歴史

『食の実験場アメリカ  
—ファーストフード帝国のゆくえ』

鈴木透 (法学部教授) 著  
中公新書 / 880円 (2019年4月)



アメリカの食と言えばハンバーガーやホットドッグなど、いわゆる「ファーストフード」を思い浮かべる人が多いのではないだろうか。画一的なファーストフードは味覚的な個性は薄いが、その汎用性から世界中で親しまれている。しかし、アメリカの食を建国まで遡って調べていくと、ヨーロッパから来た白人、先住インディアン、黒人奴隷、各国からの移民らの食文化と時代の変化が複雑に融合しながら現在に至ったことが見えてくる。本書は西洋と非西洋が融合したアメリカの食文化を、移民大国の歴史を背景に社会的・文化的に考察。食文化を通してアメリカという国の実像に迫る一冊だ。

## 教職員執筆の最新刊

●伊東裕司 (文学部教授) 著

『裁判員の判断の心理—心理学実験から迫る』慶應義塾大学出版会 / 700円 (2019年5月)

●古田和子 (名誉教授) 編著

『都市から学ぶアジア経済史』慶應義塾大学出版会 / 2000円 (2019年5月)

●小熊英二 (総合政策学部教授) 著

『地域をまわって考えたこと』東京書籍 / 1600円 (2019年6月)

●根本彰 (文学部教授) 著

『教育改革のための学校図書館』東京大学出版会 / 4600円 (2019年6月)

●磯崎敦仁 (法学部准教授) 著

『北朝鮮と観光』毎日新聞出版 / 2000円 (2019年7月)

●嘉治佐保子 (経済学部教授)、中妻照雄 (経済学部教授)、福原正大 (経済学部特任教授) 編

『フィンテックの経済学—先端金融技術の理論と実践』慶應義塾大学出版会 / 2700円 (2019年8月)

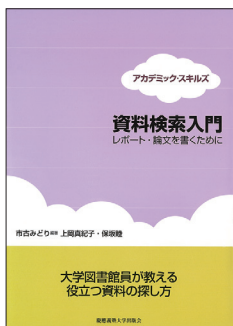
## 慶應義塾この一冊

『アカデミック・スキルズ 資料検索入門』

— レポート・論文を書くために —

中古みどり (三田メテアセンター 事務長) 編著、保坂睦ほか著

慶應義塾大学出版会 / 1200円 (2014年1月)



大学生がレポートや論文執筆に取り組むにあたって、資料検索のスキルは必要不可欠だ。本書は多くの大学生に授業を通して資料検索についてレクチャーしてきた大学図書館員が執筆。レポートや論文を書くための基本知識からはじめ、論文のテーマを決め、「問い」を立てて、レポート・論文に必要なさまざまな資料(根拠・データ)を検索・入手するまでの実践的なスキルをわかりやすく解説。巻末にはGoogle ScholarやCiniiなどの学術的データベースの使い方を解説している。